

三中だより

令和4年7月19日(火)

大田区立大森第三中学校

校長 笛木 啓介

令和4年度第5号

大田区中央4-12-8

夏草に汽罐車の車輪来て止まる

この作品は「山口誓子」という俳人が詠まれたものです。京都府出身の男性俳人で、明治生まれ、大正・昭和・平成のはじめまで活躍した俳人です。この句からは、草むしる駅の構内で、ゆっくり近づいてきた機関車が、徐々に速度を落とし「ぎいー」と音を立てて目の前で停止するという情景が目に浮かびます。ここに使われている汽罐車の罐の字は缶の旧字体で、石炭を焚いて蒸気力で走る蒸気機関車にぴったりのイメージの漢字です。夏の暑い中、火を焚く機関車のボイラーには陽炎がゆらゆらとまとわりついている様子が目に浮かぶようです。鉄の焦げたようなにおいも脳裏によみがえってきます。昨今の電車ではこんな停車の仕方はしないでしょう。大森駅で待っていると「ひゅいーん」とやってきて、チャイムの音色とともにあわただしく次の駅目指してスタートダッシュしていく、あの青帯の電車とは同じ鉄道でも一線を画するものがあります。

この句からは、そのときの温度、音、色、においなどさまざまな事を、それこそ絵を見るように感じ取ることができます。俳句で使われている季語の「夏草」からは、夏の厳しい直射日光の中、青々と、でもちょっと萎れた様子の草たちの様子が目に浮かびます。ところで、こうした情景を読み取れるのは、受け手の我々が夏の情景の中で実際に生きて、その様子を見て、経験しているからに他なりません。そして、精練されたことばからさまざまな情報をうけとるためには、さらに経験を積み、知識を広げていくことも大切なことで

す。時に知識や経験は、正しい情報を理解するためのバイアスとなる場合もあります。そうしたことも考慮して知識と付き合う事で、より一層自分の視野を広げ、自分自身の生活を豊かにし、日々のことがらに敏感になることができるのです。

さて、この一学期間で生徒たちは、始業式や入学式という年度のスタートから始まり、運動会という大きな行事の成功を経て、日頃の学習の様子を道徳授業地区公開講座や土曜授業学校公開という場で披露することができました。なにより、日頃の学校生活を大切に、この72日間の一学期間を過ごしたことは、とても大きな体験であったと思います。そして、これからの学校生活や夏休みでも、さらにたくさんの体験をして、感受性を磨いていってほしいと願っています。それが、自分自身の視野を広げ、自己の生活をより豊かにすることにつながっていきます。このように体験や学びを通じて、生徒たちにはこれからの社会で生きるにあたって、さまざまに起こる事柄に対して、主体的に受け止める人になってほしいと願っています。そして、「すてきなものはすてき」と素直に気持ちを読み取れ、自他のよさを認める人となってほしいと思います。それが多様性の尊重につながっていきます。

地域のみなさま、保護者のみなさま一学期の学校の教育活動へのご理解・ご協力を賜りましたこと、大変ありがとうございました。学校は7月20日の終業式をもって、夏季休業となります。地域・家庭での生徒たちの健全な成長への見守りをどうぞよろしくお願いいたします。充実した夏休みを経て、2学期に生徒とともに学校生活をスタートできることを楽しみにしております。

スクールカウンセラー出勤予定日

藤田 啓子	9/6(火)、9/13(火)、9/20(火)、9/27(火)
鳥海 真里	9/7(水)、9/14(水)
田中 典子	9/2(金)、9/9(金)、9/16(金) 時間：8:30から16:30まで

※大森三中 相談室直通
電話(3773)7831

9月の行事予定

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木
		地域防災訓練(1・2振替休業日(3))	修学旅行(3)終	修学旅行(3)	修学旅行(3)始	土曜授業日・新入生保護者説明会	秋分の日		研修会		敬老の日			生徒会選挙⑤⑥	区陸上競技選手権大会	職員会議	中間考査	中間考査			安全指導	中央員会16:00~	専門委員会						始業式・広域避難訓練

一学期をふり返って

1年

はじめての中学校生活に胸を弾ませて登校し、楽しかったことが沢山ありました。ですが、その反面直さなくてはいけないこともあります。そこで、私はこの一学期をふり返って二学期にいかしたいことを二つ考えました。

一つ目は期末テストです。期末テストは九教科あり、二週間のうちほとんど課題を終わらせるので時間をとられてしまったため、テスト勉強の時間があまりとれなく九教科均等に勉強出来ずテストの結果に差が出てしまいました。ですから、二学期の中間テスト、期末テストでは課題で時間を使いすぎないように、授業で習った範囲はその日のうちにワークなどに組みたいです。

二つ目は、授業のふり返りです。一学期はあまり授業のふり返りが出来ていなかったのが、得意不得意の差が出来てしまいました。なので、二学期は授業のふり返りをもっと頑張っって毎日行えるようにしたいです。

私はこの二つの事を二学期の目標として頑張りたいです。さらに、二学期は合唱コンクールと車山移動教室もあるのでクラスの人と協力して行きたいです。

一学期の思い出

1年

私は一学期をふり返って思い出に残っているものが二つあります。

一つ目は入学式です。やっぱり中学校生活のスタートということで思い出に残っています。新しい友達や先生とも会ったので心に残るものがあります。また新入生代表の言葉もやりました。あの緊張は忘れられないと思います。また準備過程も大変だったのでよく覚えてます。

二つ目は運動会です。中学校生活初めての運動会であったので、少し緊張しました。けれど、クラス全員で協力し、たくさん練習しました。とくに、出前一丁ではどのような持ち方がいいのか考えながら取り組みました。全員リレーでは、最初はバトンパスやテークオーバーゾーンを意識するので精一杯だったけれど、本番ではそれらはもちろん、利得距離も考慮して走ることができました。そうやってみんなで協力した結果、優勝することができました。優勝した時の気持ちは言葉では表せられない喜びでした。

こうして振り返るとあっという間に感じます。しかし、これだけでなく期末考査など、色々詰まった楽しい一学期でした。この思い出を忘れず二学期にあるテストや合唱コンクール、移動教室に取り組みたいと思います。

夏休みの生活について

生活指導主任

夏季休業中は、生徒が家庭や地域社会において自律的に時間を使い、豊かな体験やゆとりある生活を通して、自分を磨き、鍛えるための絶好の期間です。

しかし、新型コロナウイルス感染症対策で、人との関わり方や体験的な活動等に制約がある中、生徒が深刻な悩みを一人で抱え込んでしまうことが心配されます。

学校では、「不安や悩みを抱えたときに、身近にいる信頼できる大人に相談することの大切さ」「他の生徒がいじめや暴力等を受けていることや、集団等との関わりや交友関係に悩んでいることなどについて、見たり聞いたり相談を受けたりした場合は、直ちに教職員や保護者等の大人に伝えることの大切さ」について、指導を行っております。この夏休み、ご家庭でのコミュニケーションの充実をお図りいただき、生徒の心身の変化に目を向けていただければと思います。また、生徒に少しでも気になる様子が見られる場合は学校や相談機関に相談をお願いいたします。24時間受付の「東京都いじめ相談ホットライン」など、外部の相談機関の連絡先が記載された資料を夏休み前に生徒に配布いたします。ぜひご活用ください。学校・家庭・地域で連携し、子どもが安心して相談できる環境の構築を行っていきたく思います。ご協力よろしくお願ひいたします。

多くの生徒がスマートフォンなどでSNSを利用している現状です。学校では情報モラルについて、他者を傷付け、いじめとなるような発言を行うことのないように指導を行っております。道徳の授業や外部講師を招いて開催したセーフティ教室などで繰り返し指導を行っております。一人1台貸与しておりますタブレット端末の使用の仕方についても同様です。インターネットの世界は大人の目に見えない部分も多いため、ご家庭でも日頃よりインターネットの使い方について話題にしていただき、生徒への注意喚起を行っていただくなど、ご協力いただければ幸いです。

加えて、事故やトラブルに巻き込まれないように、外出の際には行先・目的・同行者・帰宅時間を必ず確認し、夜間の外出は極力避けるなど、防犯意識も高めていただければと思います。また、近年は天候も変わりやすく、風水害も多く発生しています。ハザードマップや避難場所の確認など、防災についてもぜひ話し合う時間をとっていただければ幸いです。

充実した夏休みを過ごし、一回り大きく成長した三中生が希望と意欲をもって2学期を迎えられることを願っています。

7月9日(土)一学期のまとめの全校保護者会と土曜授業公開を行いました。多数のご参加ありがとうございました。

